



水となかよし！

今年は暑すぎるほどの日差しが降り注ぐ中、3・4・5歳児それぞれが、プールやシャワー・手づくりおもちゃなどで思いきり水遊びを楽しみました。3歳児は5月頃からままごとや砂遊びで水に触れる遊びを少しずつ楽しんできました。水着に着替えることにも挑戦して、シャワーの下をくぐったり、先生と一緒に水のかけ合いをしたり、はしゃいだ声が園庭中に響きました。4歳児は大きいプールで友だちと一緒に楽しむ水遊びで、ワニさんに変身しても隣同士顔を見合わせて一緒に進みました。プールの底に沈んでいる貝殻などの玩具集めでは、顔だけ水につからないように腕を伸ば

して集める子、ほっぺたを膨らませて息を吸い込んで顔付けしながら集める子、それぞれに自分なりの方法で水の中を懸命に集める姿にたくましさを感じました。5歳児は幼稚園の大きいプールでは物足りないくらい、ダイナミックに水遊びを楽しみました。足をばたつかせて体を浮かせてみようとしたり、「数かぞえて」と顔付けに挑戦したり、仰向けになってラッコのように体を浮かせようとしたり、水の中でいきいきと自分のできることに挑戦する様子がたくさん見られました。6月から始まったプール遊びですが、5歳児は7月に小学校へも行かせてもらってプールでの水遊びも楽しみました。大きなプールに初めはちょっと緊張した表情も見られましたが、帰るころには「もっと入りたーい」の声が聞かれるほど、存分に楽しんだ子どもたちです。帰りには森校長先生から「また小学校に来たらいっぱい入れるからね」と子どもたちに声をかけていただいて、小学校へ行くことを楽しみにする気持ちが大きく膨らんだ子どもたちでした。この時期に年齢に応じていろいろな水遊びを楽しんでいくことは、体力にも体の育ちにも大きく関わりがありますが、他にも水の感触や水の性質の不思議さなど”感じ・考える”力の育ち、友だちとの楽しさを共有することの力の育ちにもつながります。遊びを通しての経験を大切にしていきたいです。



あつまれ！あっぷるマーク！！

今年度から始めた「てくてくウォーク大作戦」は、お家の方と子どもたちが一緒に“歩く”ということに着目した取り組みです。“体の育ち”“心の育ち”“地域への親しみ”など、いいことがたくさん期待できる“歩く”を子どもたちとお家の方と一緒に楽しんでいきたいと願って始めました。10回以上徒歩通園または園の周辺を歩くことができた友だちに送る「あっぷるキーホルダー（それぞれのクラスカラーの縁取りの真ん中にりんごのマークがついています）」は当初予想していたよりずいぶん早くたくさんのお友だちに渡すことができました。そしてたくさんの保護者の方から「子どもたちのやる気スイッチが入った」と嬉しいお話を聞かせてもらいました。これからしばらく暑い時期には難しいですが、秋になったら、またたくさんのお友だちがあっぷるマークのキーホルダーを集めてくれるといいなと願っています。地域の皆さん、あっぷるマークのキーホルダーをつけて歩いている子どもたちをお見掛けされたときは、ぜひ一声励ましの言葉をお願いします。

